

# 2018年 特養ホーム開設予定

## 力あわせ さらなる増設を

### みなさんの要望をお聞かせください!

日本共産党は介護に関するみなさんのご意見・要望をお聞きしています。

ご連絡は各議員または日本共産党目黒地区委員会  
TEL 3714-6431 FAX 3714-6434まで。



求められる特養ホーム増設(写真は区立中目黒特養ホーム)

目黒区では、特別養護老人ホームの数が足りず、待機者は1000人前後で推移しています。日本共産党目黒区議団は2013年第3回定例会区議会(9月)で特養ホームの増設について質問しました。青木英二区長は「計画の前倒しや定員拡大を検討する」と述べました。

### 深刻さ増す介護

介護のために家族が仕事をやめなければならないケースが増え、老老介護は家庭崩壊を招き、区内で介護を苦に殺人まで起きています。多くの人が在宅介護を望んでも、介護保険による在宅支援は不十分で在宅で生活することもままなりません。

特養ホームなど施設が求められているにもかかわらず、目黒区は「財政難」を口実にした緊急財政対策で、2013年開設予定だった区立第四特養ホームの整備計画を撤回。一方、品川

区、大田区など特養ホーム増設が進んでいます。

### 区民と改善へ取り組み

そうした現状をかえようと、区民のみなさんが特養ホーム増設の署名活動に取り組んだり、区議会

には2年前に特養ホームの増設を求める陳情が提出されました。施設拡充は待ったなしの課題です。党区議団も特養ホームの増設をはじめ、介護保険制度の改善をめ

**切実な陳情になぜ賛成できない? 自民・公明・民主など**  
「特養ホームの増設促進を求める陳情」が区議会に提出されています。この陳情にたいし、自民、公明、民主の各党は、ずっと継続審議に。傍聴者から「区民の切実な声にこたえず放っている。なぜ態度を明らかにしない」と批判の声が上がっています。

開催と介護保険実態調査、②都に對し、廃止した特養ホームの用地費補助の復活や整備費・運営費の補助の増額、公有地の活用など要望を提出し交渉、③区に對し、上目黒1丁目にある国鉄清算事業団跡地(JR跡地)などを活用した特養ホームの整備を提案——など取り組んできました。

そうした活動もあり、目黒区はこのほど、2018年に開設予定の特養ホームの整備内容を明らかにしました。引き続き、区民のみなさんとともに特養ホーム増設に向けがんばっていきます。

### 柿の木坂都有地活用し認可保育園

### 日本共産党の提案実る

目黒区はこのほど、柿の木坂

(35年程度で借り受けます。

2丁目14番地の東京都有地に、2016年4月開園めざし認可保育園を建設する計画を示しました。目黒区内で都有地を活用する認可保育園は初めてです。

日本共産党目黒区議団は待機児解消のため、都有地の活用を提案してきました。09年4月に、東京都に認可保育園整備などの財政支援と保育園用地として柿

敷地面積は約660平方メートル。私立認可保育園として定員70人規模を予定しています。事業者は都から土地を定期借地

の木坂2丁目の都有地を区に貸与することを要望。都が「区に保育園用地としての計画があれば要望を提出してほしい」と回

答したのを受け、区に対して同都有地を認可保育園建設用地として確保するよう求めました。

さらに、13年6月の定例区議会でも、柿の木坂都有地に認可保育園整備を求めました。こうした提案が実りました。

党区議団は区民のみなさんとともに認可保育園の増設を訴え続け、区は10年以降、認可保育園6園(定員488人)を増設。

14年4月には、アソシエ下目黒保育園(仮称、定員70人)、下目黒二丁目保育園(仮称、定員60人)、蓮美幼児学園西小山ナ



柿の木坂の都有地

サリー(仮称、定員60人)の3つの認可保育園が開園します。

区民アンケートへのご協力ありがとうございました

結果詳報2~3面

### 日本共産党 目黒区議団ニュース

2013年12月・2014年1月号 日本共産党目黒区議団

〒153-8573 目黒区上目黒2-19-15  
TEL 03-3715-1111 (内線3030) FAX 03-5722-9344  
メール jcpmkd@topaz.ocn.ne.jp ホームページ <http://www.jcpmkd.jp/>

ご意見をお寄せください

# 区民・中小企業の生活支援を 年末・年始対策の充実を申し入れ

日本共産党目黒区議団は、

11月25日、目黒区に対して

「年末・年始対策の充実に関する申し入れ」を行いました。

1997年をピークに国民の所得は減り続け、働く人の平均年収は70万円も減少しています。月給は16か月連続で前年を下回るなど、家計所得の減少傾向は止まりません。一方で、物価などが上がり、くらしはますます大変になっています。

## 申し入れ内容

- 1 失業時に生活費として使える「総合支援資金」など、区民が使える生活支援制度をわかりやすく周知すること。
- 2 生活福祉課の相談体制を充実させるとともに、年末・年始の閉庁時でも緊急の介護問題や住宅困難者が相談できるワンストップ・サービスの窓口をつくること。
- 3 中小企業の年末での廃業・倒産を回避するため、「年末融資相談会」を開催すること。
- 4 各種税、公共料金の滞納対策において、滞納者への連絡をていねいにとり対応を行うこと。
- 5 生活保護基準の引き下げによって、毎月の支給減に加えて期末一時扶養費も減額されている。年末の法外援護を充実させること。



対応した鈴木副区長に要請する党区議団

また、大企業が決算で次々と黒字を膨らませている一方で、中小企業は長期にわたる不況のもと、円安による原材料価格の上昇に苦しめられている上に、来年4月からの消費税増税計画への不安が広がり、仕事の確保と資金繰りに追われる年末を迎えています。

区内でも、職を失った若者や家賃を払えなくなっている高齢者、年末で廃業を選ばざるを得ない業者など深刻な状況です。こうした時だからこそ、目黒区がしっかりと区民の生活を支える年末・年始対策を進めるよう求めて申し入れを行いました。



## 区有施設見直し方針

区へ意見を提出してください

(2月3日まで)

目黒区は12月、区有施設見直し方針案(中間のまとめ)を公表しました。方針案は、区長に提出された区有施設見直し有識者会議の意見書、施設利用者へのアンケートや3000人(無差別抽出)を対象にした区民アンケートの結果などを反映して作成したとしています。

現在、区有施設は用途別に数えると317施設あります。震災対策や安全を期するうえで、老朽化した施設は順次、改築や大規模改修を行う必要があります。また、特別養護老人ホームや保育園など、区民にとって必要でありながら不足している施設は早急に増設する必要があります。そうした財源をどうするかという問題もあります。

区は、施設の統廃合や民営化計画を一方的に進めるのではなく、区民に区有施設の見直しについて説明を徹底し、住民の意見を十分に聞く時間と手続きをとるべきです。

区は、12月25日から2月3日まで区民意見の募集(パブリックコメント)を行い、3月には見直し方針を決定する予定です。どんどん意見を出してください。

日本共産党目黒区議団

無料 法律・生活相談

困った時はいつでもどうぞ

- 毎月第3木曜日午後2時～3時半
- 区役所5階日本共産党控室 ☎(3715)1111 (内)3030
- 各区議地域でも随時行っています。お問い合わせ下さい。



区議会議員  
星見てい子  
☎152-00033  
目黒区大岡山1-19-6-A  
☎080-5680-4531



区議会議員  
岩崎ふみひろ  
☎152-00002  
目黒区目黒本町6-4-1405  
☎(3713)68000



区議会議員  
石川 恭子  
☎153-00052  
目黒区祐天寺2-19-15  
☎(3711)97735



区議会議員  
森 美彦  
☎153-00433  
目黒区東山1-12-11  
☎080-1165-6662

●●みなさんのご意見・ご要望をぜひお寄せください。●●

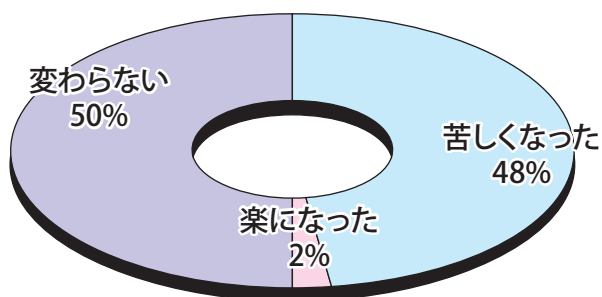
# 日本共産党目黒区議団 アンケート結果

## くらしと営業、いぜん厳しく

日本共産党目黒区議団のアンケートに280人の区民のみなさんから回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。生活の厳しさや福祉や防災を強化してほしいというご意見が多かったのが特徴です。いただいた声を区政に生かし、区民のみなさんの要求を実現するために引き続き力をつくします。なお、自由意見を多数いただきましたが、紙面の都合上、割愛させていただきます。自由意見を含めた結果の詳細は、「日本共産党目黒区議団」のホームページ (<http://www.jcpmkd.jp/>) をご覧ください。

### 現在のくらし向きは…

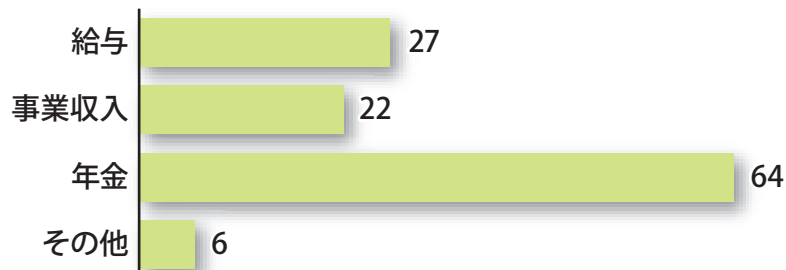
「苦しくなった」方は、相変わらず半分近くに達し、くらしぶりは改善していません。



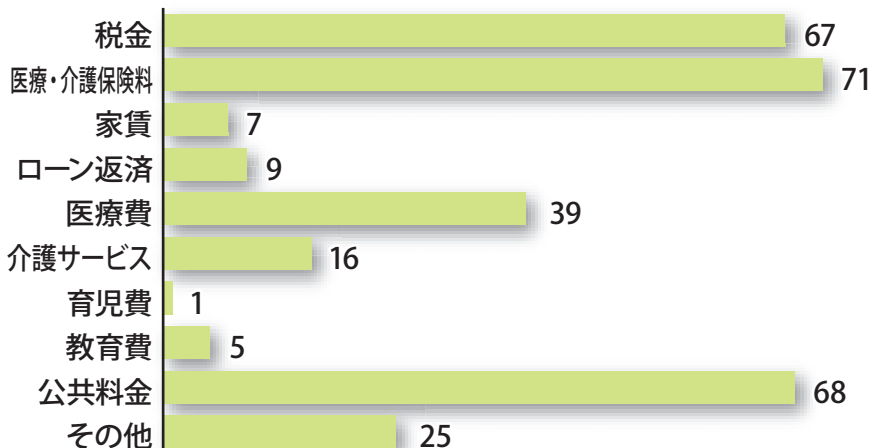
### その主な原因は…

「年金生活なので、毎年、年金が減って生活が苦しくなります」「収入は減り物価等値上げが多くなり生活は苦しい」「年金が減ったのに年齢にともない医療費がかさむ」などの切実な声が寄せられています。

#### ●収入が減った(人)

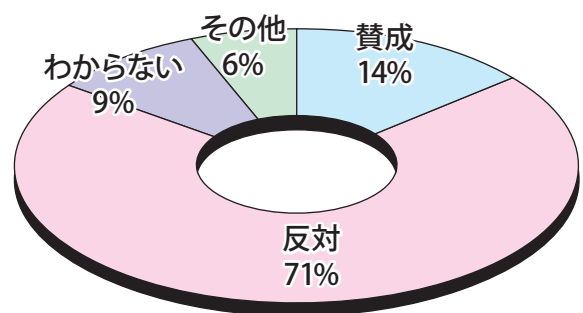


#### ●支出が増えた(人)

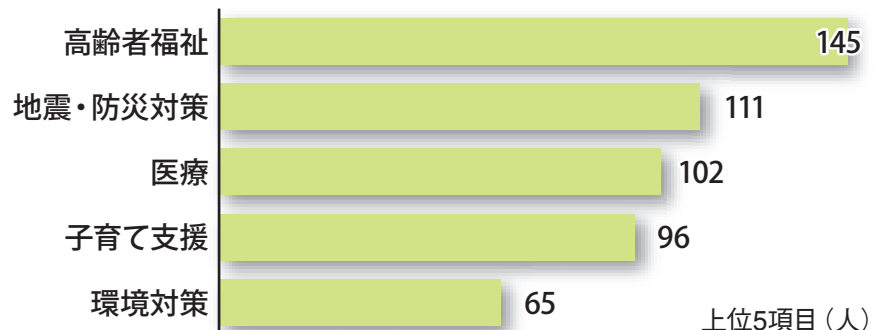


### 2014年4月に消費税率が8%に増税される計画について

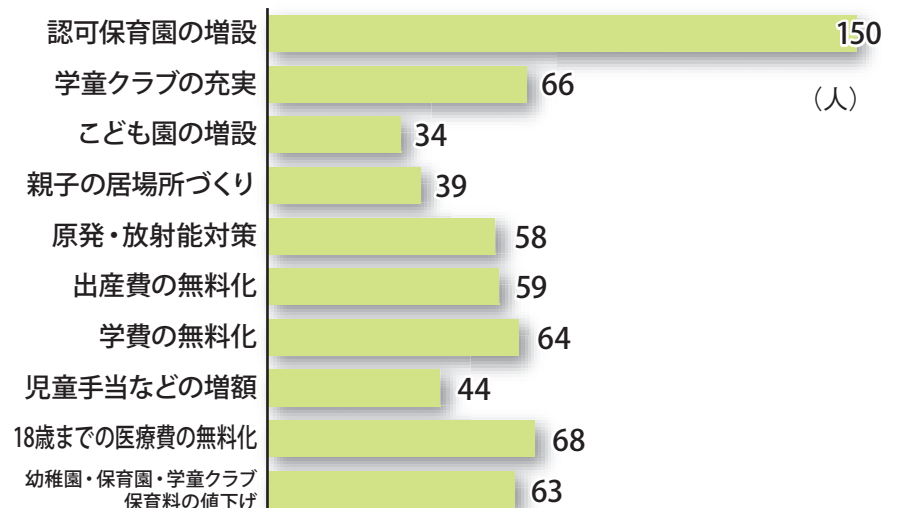
消費税増税については、7割の方が反対。賛成は14%と少数にとどまりました。「円安と値上げで費用増の状況が増すばかり。これで消費税増となると中小企業はやってゆけません!」「増税よりも歳出の見直しを」などの声が寄せられています。



### 目黒区で力を入れてもらいたいことは



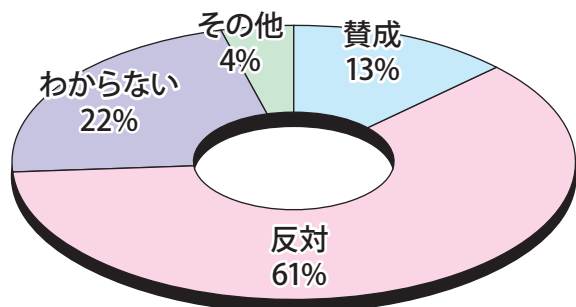
### 子育て支援について望むこと



保育ニーズの高まりを反映し、「認可保育園の建設」を望む意見が多数を占めています。また、「学費の無料化」「18歳までの医療費の無料化」「保育料の値下げ」など、教育にかかる費用の負担軽減を求める意向も強いのが特徴です。

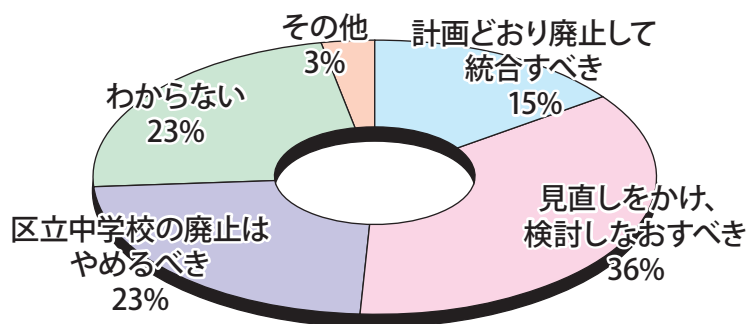
## 目黒区が経費削減を最優先して7園の区立保育園を廃止して民間に渡す計画について

区立保育園を「私立化」する計画について、6割が反対しています。「きちんとした区立保育園だからこそ安心して預けられ母親も働ける」「保育行政に力を入れるべき」などの声が出されています。

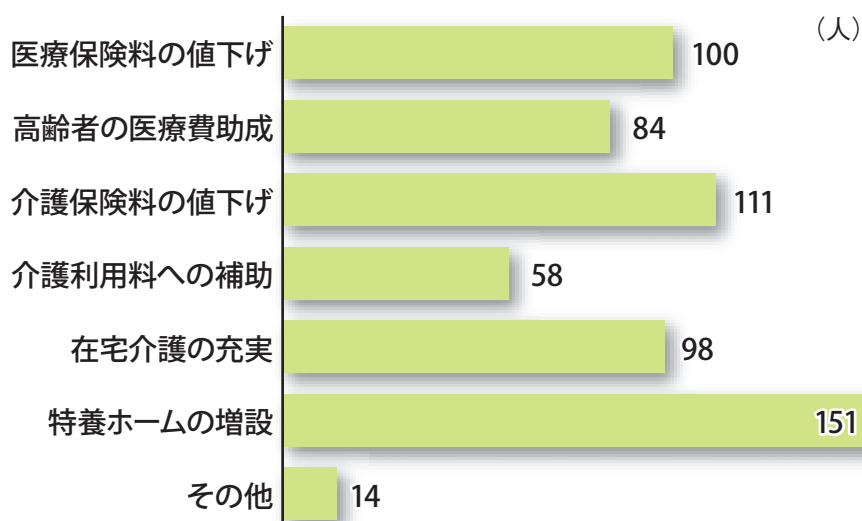


## 目黒区教育委員会の区立第3・第4中学校の廃止・統合に続いて、第7・第8・第9・第11中学校の廃止・統合を進める計画について

「見直して検討しなおすべき」「廃止はやめるべき」が、合わせて約6割に達しています。「小規模校の良さを生かすことが、今の子ども達には必要なことだと思う」「子どもが減っても広範囲の統合は今一度見なおしを考えるべき」「急がなくてよく検討すべき。多くの人の意見を聞くべきと思う」など、慎重な意見が多いのが特徴です。



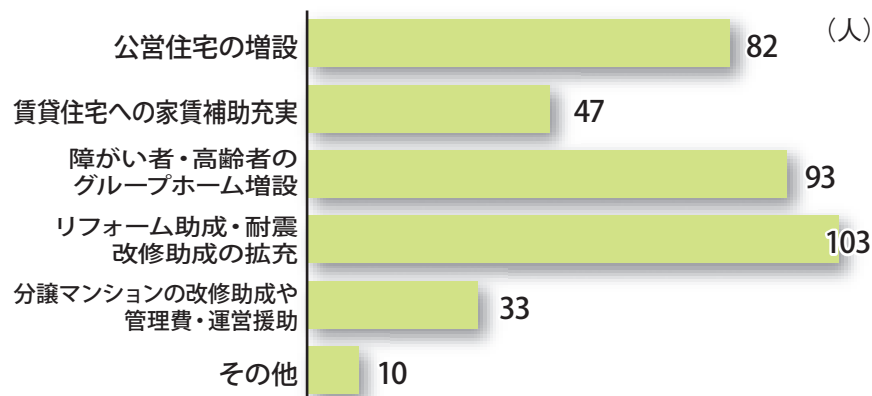
## 高齢者福祉や医療・介護保険に何を望みますか



「国民健康保険料が毎月高くして生活を圧迫しています。主人が後期高齢者ですが後期になると保険料が高くなるのは納得がいきません」「自宅介護は理想だが限界がある。特養ホームの増設も必要では」など、保険料の引き下げや特養ホーム充実への意見が出されています。

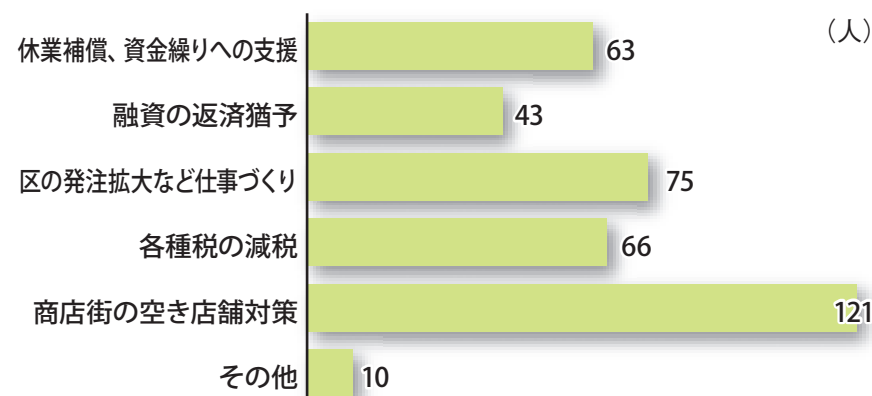
## 住宅政策について望むこと

「老朽化した木造住宅は家主が高齢化して建て替えができない状況になっている。こうした地域を防災の視点から対応すべき」「区の公営住宅として老人向けを建てるべき」など、住宅改修への補助や公営住宅への期待の声が多く上がっています。



## 中小企業のくらしと営業について何を望みますか

「空き店舗を区が補助をして起業する人を助けたらよい」「中小企業への資金支援、融資の返済猶予等を徹底的に行うべき」「区の発注事業は区の職人（区に住んでいる）に仕事を下さい」などの意見が寄せられています。



## 目黒区が「緊急財政」として180億円もの区民生活カット。一方で2012年度は43億円の黒字。財政運営について

「何のために積み立てているのか、区民のために使うべき」「必要な支援なら復活すべきでは」「国保、介護等の保険料を安くして欲しい」などの要望が多く出されています。

